

連結決算ハイライト

2014年3月期 第2四半期連結決算の概要

営業収益は2,582億1千7百万円と、前年同期に比べ49億7百万円の増加(前年同期比1.9%増)となりました。

また、営業利益は272億4千8百万円と、前年同期に比べ23億3千2百万円の増加(前年同期比9.4%増)となったほか、経常利益は242億8百万円と、前年同期に比べ28億6千5百万円の増加(前年同期比13.4%増)となりました。

これに伴い、四半期純利益は161億4千4百万円と、前年同期に比べ22億8千万円の増加(前年同期比16.5%増)となりました。

(単位:百万円)	当第2四半期 累計	前第2四半期 累計	増減額	増減率
営業収益	258,217	253,309	4,907	1.9%
営業利益	27,248	24,916	2,332	9.4%
経常利益	24,208	21,342	2,865	13.4%
四半期純利益	16,144	13,863	2,280	16.5%

セグメント別の概況

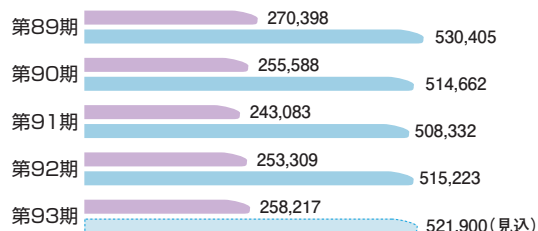
運輸業 売上高構成比 33.1%	営業収益 86,993百万円 (前年同期比 1.7%増)	営業利益 17,067百万円 (前年同期比 0.4%増)	●雇用環境の改善や観光需要の増加等により、鉄道事業において定期・定期外ともに輸送人員が増加したほか、箱根エリアでも好調な推移となったことから増収増益となりました。
流通業 売上高構成比 42.6%	営業収益 111,367百万円 (前年同期比 0.1%増)	営業利益 1,804百万円 (前年同期比 7.2%減)	●百貨店業において景況感の改善などにより高額商品を中心に好調に推移したことから増収となりましたが、ストア業等において減収となったことなどから減益となりました。
不動産業 売上高構成比 10.7%	営業収益 30,589百万円 (前年同期比 14.4%増)	営業利益 6,479百万円 (前年同期比 35.5%増)	●分譲業において住宅販売が堅調に推移し、販売戸数が増加したことなどから増収増益となりました。
その他の事業 売上高構成比 13.6%	営業収益 44,878百万円 (前年同期比 1.6%減)	営業利益 1,812百万円 (前年同期比 65.3%増)	●ホテル業において宿泊部門を中心に好調に推移したことなどから増収となったものの、旅行業や鉄道メンテナンス業等で減収となったことなどから全体では、減収となりました。一方、営業利益につきましては、費用が減少したことなどから増益となりました。

※売上高構成比は外部顧客に対する売上高に基づき算出しています。

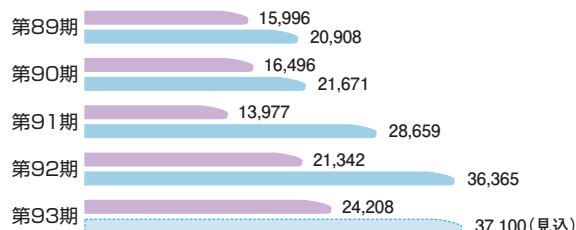
連結業績の推移

■ 連結通期 ■ 連結第2四半期累計

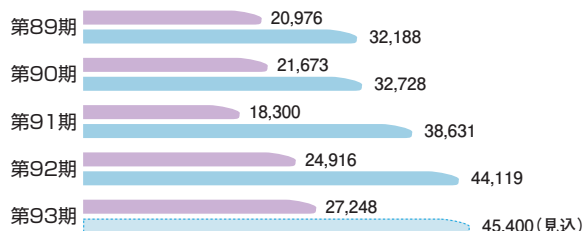
営業収益 (単位：百万円)



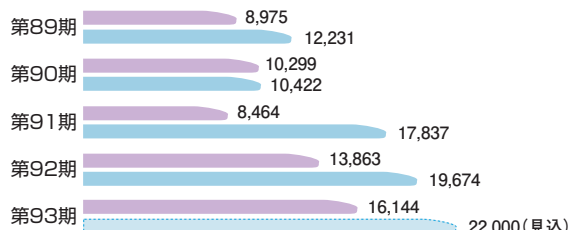
経常利益 (単位：百万円)



営業利益 (単位：百万円)



当期(四半期)純利益 (単位：百万円)



2014年3月期の見通し

当期の連結業績予想につきましては、第2四半期までの業績等を踏まえ、平成25年4月30日に公表いたしました業績予想を変更しております。

営業収益は、全てのセグメントにおいて見通しを引き上げ、5,219億円(前期比1.3%増)と従来予想から36億円上方修正しております。

これに伴い、営業利益につきましては454億円(前期比2.9%増)と従来予想から22億円上方修正したほか、経常利益は371億円(前期比2.0%増)、当期純利益は220億円(前期比11.8%増)と、従来予想からそれぞれ28億円、10億円上方修正しております。

営業収益	521,900百万円	前期比 1.3%増
営業利益	45,400百万円	前期比 2.9%増
経常利益	37,100百万円	前期比 2.0%増
当期純利益	22,000百万円	前期比 11.8%増

※上記の見通しは、現時点で得られた情報に基づいて算定しております。従って、実際の業績は状況の変化などにより、記載の予想とは異なる場合があります。